

令和6年度高知県看護協会看護研究学会

研修名	令和6年度高知県看護協会看護研究学会	
開催日時	令和7年2月22日(土)	9:00～13:00
研修形態	集合	
参加者数	総数88名(会員82名 非会員6名)	定員80名
対象	保健師・助産師・看護師・准看護師	
ねらい	県内の看護職者等に研究発表及び看護実践報告の場を提供し、看護職の研究活動を推進するとともに、高知県の看護の質向上を図る。	
内容	<p>学会テーマ:変化が織りなす新たな看護</p> <p>教育講演テーマ:「専門職としての変化への挑戦～change&challenge～」</p> <p>・教育講演:Ⅰ 高知県訪問看護連絡協議会会長 在宅支援専門看護師 安岡しずか Ⅱ 日本看護協会会長 高橋 弘枝 座長 高知県立大学看護学部教授 長戸和子</p> <p>・口演:20演題 座長 高知大学医学部附属病院 大坪佳代 高知赤十字病院 上田純子 社会医療法人近森会近森病院 増井麻佳 土佐市立土佐市民病院 川村圭子</p> <p>・示説:5演題 座長 高知医療センター 岡林志穂</p>	

I アンケート結果

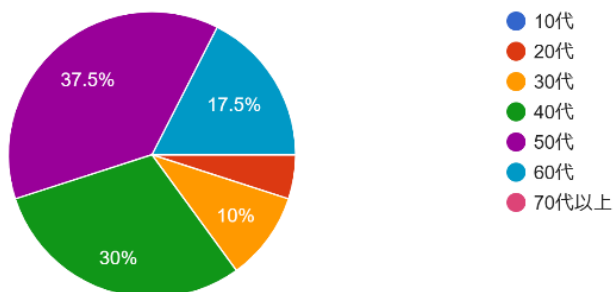
1 3月7日アンケート結果

参加人数88名 回答数40名 回答率45%

※アンケートはGoogleフォームを使用したオンライン上の質問と回答

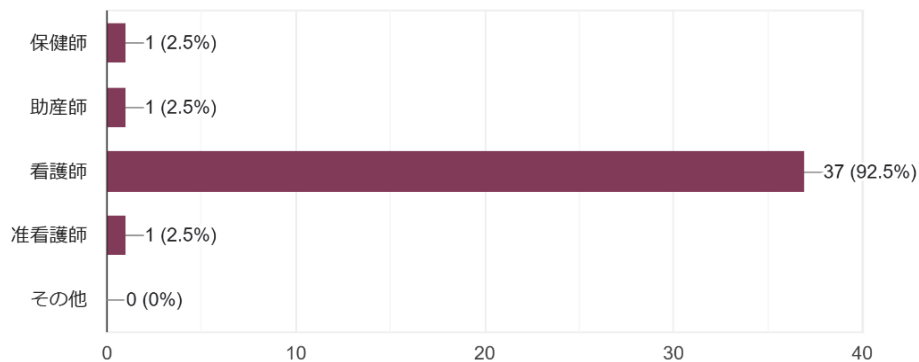
設問1 年齢

40件の回答



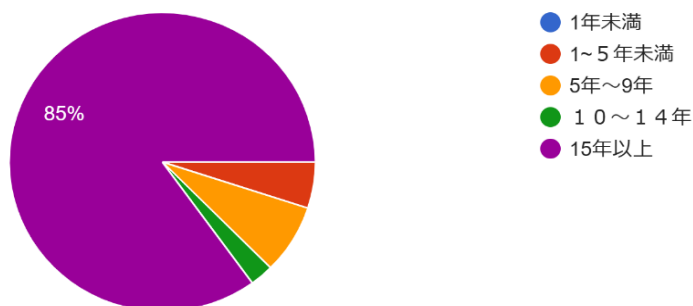
設問2 職種を選択ください

40件の回答



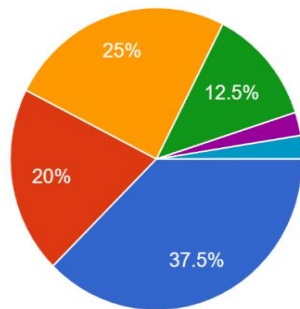
設問3 経験年数を選択ください

40件の回答



設問4 職位を選択ください

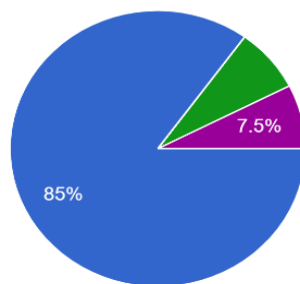
40件の回答



- スタッフ
- 中間管理職 (主任・副師長・班長・係長)
- 管理職 (看護師長・課長・科長)
- トップマネージャー (副看護部長以上 次長 室長)
- 現在、教員
- 理事

設問5 所属施設を選択ください

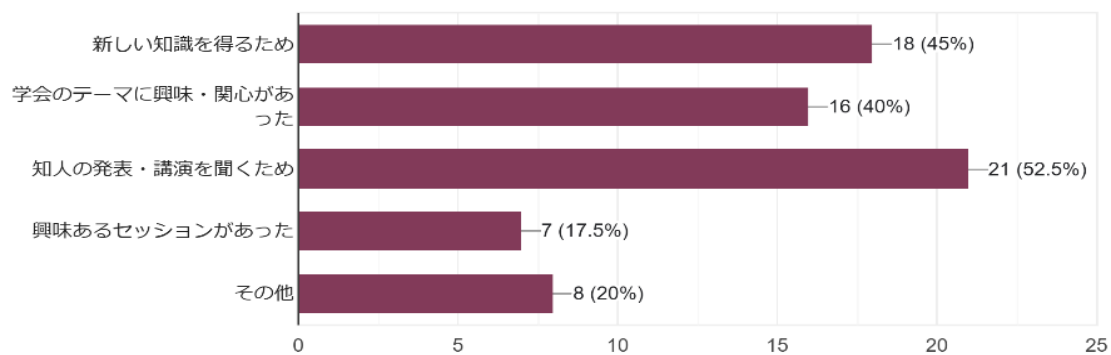
40件の回答



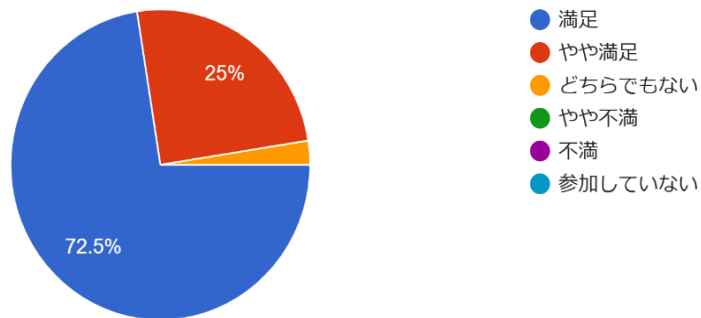
- 病院
- 診療所
- 介護保険施設
- 訪問看護ステーション
- 教育機関

設問6 令和6年度高知県看護協会看護研究学会に...れた動機について教えてください「複数回答可」

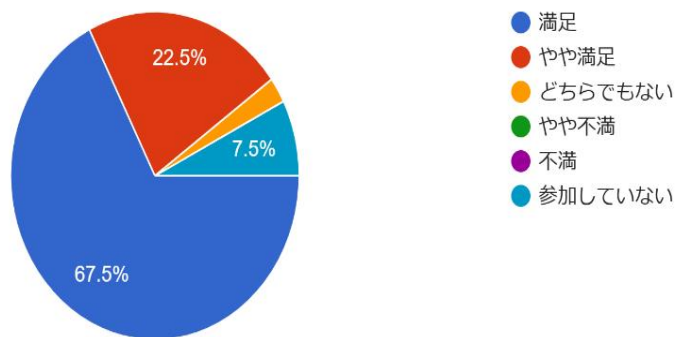
40件の回答



設問7 参加したセッションの満足度について伺います ①教育講演について
40件の回答



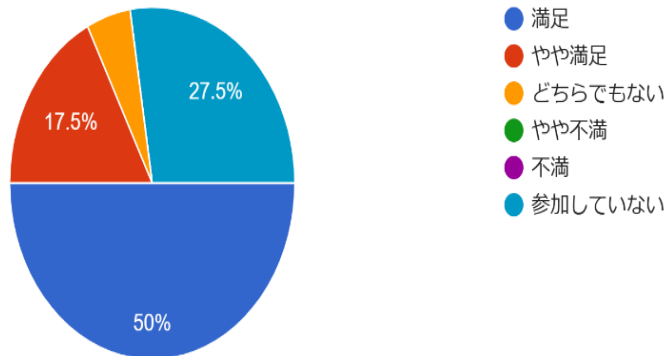
② 口演について
40件の回答



口演について、やや不満・不満を選択された方は、理由をお聞かせください。
・パワーポイントが画面からはみ出し見えにくいことがあり残念だった。

③ 示説について

40件の回答



示説について、やや不満・不満を選択された方は、理由をお聞かせください。

- ・パワーポイントのA4用紙を印刷してそのまま貼り付けているものがあり、小さくて見えにくいと感じた。

設問8 令和6年度高知県看護協会看護研究学会に関するご意見、感想

- ・教育講演では、2040年に向けて現場の看護師が頑張っていかなければいけないと感じた。
- ・高橋会長の教育講演は、とてもよい講演だった。看護について考える機会を得た。
- ・高橋会長の講演はとても共感でき、とても考えさせられる内容で良かった。
- ・高橋会長の講演は、とても参考になった。
- ・高橋会長の教育講演は、とても勉強になった。
- ・教育講演の内容が大変良かった。(3件)
- ・教育講演がとてもよかった。今後を考える上で重要な情報と元気をいただいた。
- ・教育講演には感動しました。また、口演の皆様の取り組みも素晴らしいかった。
- ・口演発表では、皆さんの発表がとても励みになった。
- ・演題は興味のある内容でとても勉強になった。
- ・とても参考になる学会発表だった。
- ・他施設の看護研究の内容等について興味があり勉強になった。また訪問看護についても現状と今後がよく分かり、専門職として今後どのようにするべきか、新たな看護についても勉強になった。
- ・会場は、ひざ掛けを使っても寒かった。
- ・参加者が多いためと思うが、メモを取ったり抄録に書き込んだりするには、やはり机が欲しかった。
- ・様々な取り組みがあり参考になった。
- ・将来の看護のあり方について考えるきっかけとなった。
- ・実践発表を初めて行い分からないことがあったが、看護協会担当者の方が丁寧に教えてくれ、無事に発表する事が出来た。会場の準備も行き届き学びも多く、参加できて良かった
- ・書き取りたいため、テーブルがあるとよいと思う。
- ・自分の知らない分野などの事が知れたり他の研究発表の内容もこれからの仕事に役立つと思った。
- ・久しぶりの看護研究学会でした。他の病院での取り組みや看護の視点を知り得たいと思い参加した。自施設の看護師にも現状の業務だけではなく、新しい知識や看護、取り組みを行う意欲を持ってもらえるような環境が必要と思う。学会発表者の方々の看護に対する前向きな意見を聞く事で、私自身ももう少し頑張っていかななくてはと思った。そして、日本看護協会会長のお話も聞いて勇気づけられた気持ちになった。
- ・今年度は抄録になり、申し込み方法もやりやすかった。
- ・今年度は、お申し込み方法が変わり申込がスムーズだった。
- ・第2会場で、発表前にスライドが開かなかった、質問者のマイクの雑音があったことなど気になった。
- ・口演では、プレゼンテーションもとても準備していると感じた。また、示説会場がとても熱気であった。演題の内容も勉強になった。活発な意見交換ができていたと思った。
- ・第1会場後方からだとスライドの字が読めない

設問9 今後希望するセッションやテーマがあればご記入ください

- ・2040年に向けてAIやICTの活用
- ・心理的安全性について

III.研修担当者より

今年度は、看護研究への興味や応募動機を拡大する目的で、募集要項を大幅に変更した。(申込方法・集録から抄録)結果、口演20演題・示説5演題の発表があった。また、今年度は、「専門職としての変化への挑戦～change&challenge～」をテーマとした教育講演2演題に絞り、盛会裏に終了できた。一般演題では、研究発表・実践報告は今後の看護に生かすことができる内容で、非常に充実していた。どの施設も、創意工夫を重ねながら看護実践を行えていることが明らかであった。

今年度のトピックスとして、日本看護協会高橋会長が来高され教育講演が実現した。高橋会長から、「2040年を見据えた課題にどうあるべきか？」について有意義な提言を数々いただいた。また、「看護職としての誇りを持ち、未来に向かって一緒に頑張りましょう」とのお言葉に、会場の参加者全員が共感していると感じられた。アンケートの結果からも、教育講演から得られた刺激や感動によって看護師としてこれからどうあるべきか？を前向きに考えている。教育講演テーマでもある「専門職としての変化」を起こしてくれると期待したい。

第2会場では、機器トラブルが発生し、演者の方や会場参加者にご不便をおかけした。次年度は機器管理も含めた会場設営について万全な体制で準備を進めていく。

3. 臨床看護研究基礎研修

研修名	臨床看護研究基礎研修	
開催日時	令和6年 5月 2日(木)	9:30～16:30
	令和6年 5月16日(木) 5月28日(火) 5月30日(木)	13:30～16:30
研修形態	オンライン	
受講者数	総数34名(4科目通して参加18名) 会員31名 非会員3名のべ受講者数:97名	定員 各40名
対象	保健師・助産師・看護師・准看護師	
ねらい	(1)臨床における看護研究の意義と研究的視点を学ぶ (2)看護研究の基本的知識やプロセスを学ぶ	
講師	プログラム参照	
内容	看護研究 文献検索 研究倫理 研究発表	

I プログラム・科目別参加者数

	研修名	日程		内容	講師	参加者数
研究の実際Ⅰ	看護研究の基礎知識	5月2日(木) 9:30～16:30	6時間	看護研究とは/テーマの探索と文献検討	高知県立大学看護学部教授 畦地博子 教授 高谷恭子	24
研究の実際Ⅱ	研究計画の進め方	5月16日(木) 13:30～16:30	3時間	目的と研究方法の設定	高知県立大学看護学部教授 池添志乃	22
研究の実際Ⅲ	看護研究における倫理的配慮	5月28日(火) 13:30～16:30	3時間	倫理的配慮とは/看護研究における倫理指針/倫理的配慮の実際/倫理的配慮を行うために必要な書類/倫理審査委員会	高知県立大学看護学部教授 瓜生浩子	21
研究の実際Ⅳ	看護研究論文(症例研究を含む)の書き方と発表	5月30日(木) 13:30～16:30	3時間	研究論文の種類/研究論文の構成/研究論文の作成手順/文献の活用/論文の記述/論文投稿	高知県立大学看護学部教授 田井雅子	29

II アンケート結果

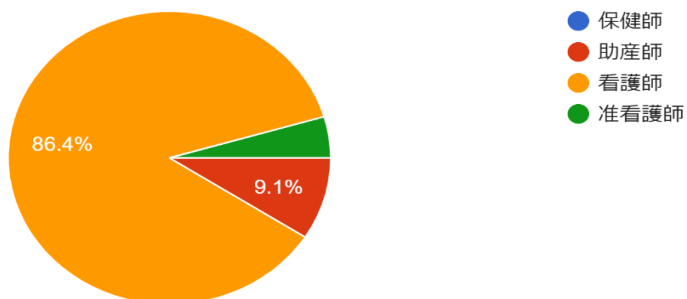
1 5月2日アンケート結果

参加人数24名 回答数 22名

※アンケートはGoogleフォームを使用したオンライン上の質問と回答

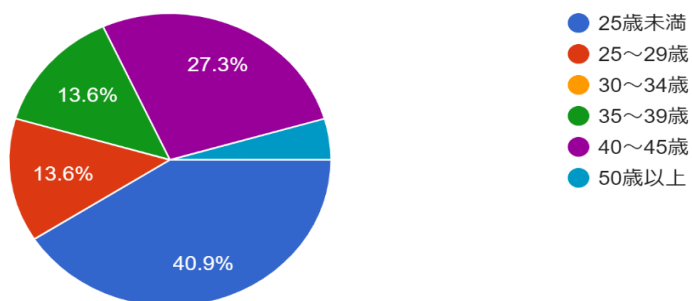
1-1該当する職名をチェックしてください。

22件の回答



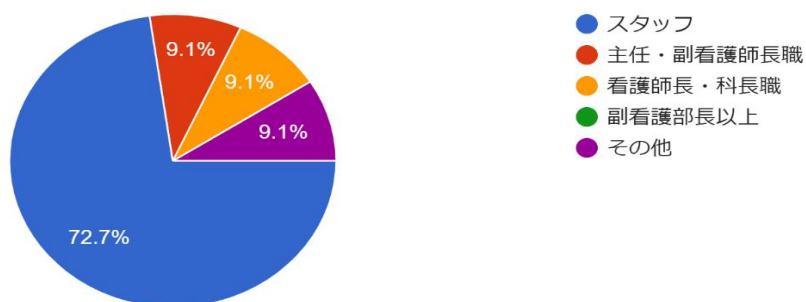
1-2年齢 次の中から該当するものを選んでください。

22件の回答

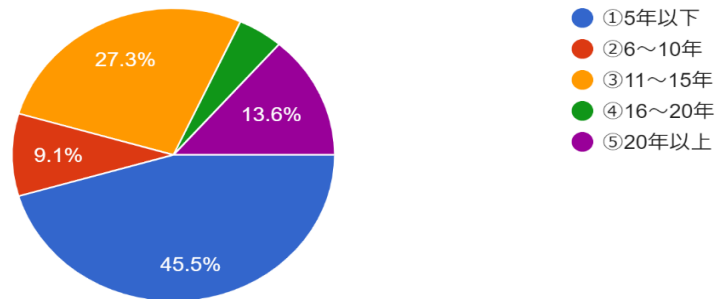


1-3職位を選択してください。

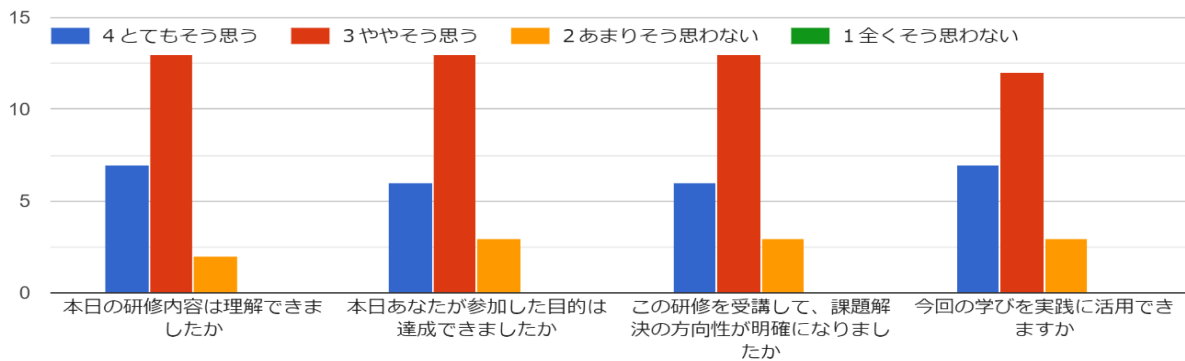
22件の回答



1 - 4経験年数
22件の回答



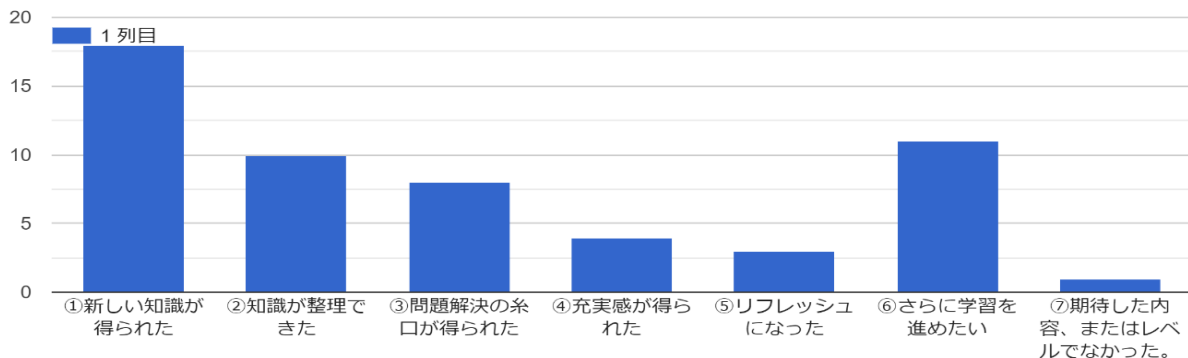
2. 以下の質問に最も当てはまる番号にチェックをしてください



上記で、2余りそう思わない、1 全くそう思わないを選択した方は、理由をお聞かせください。2件の回答

- ・ 分かりにくい所とわかるところの差があり、努力が必要だと思う
- ・ オンラインの通信環境が悪かったため残念だった

3. 研修全体を通した感想として、該当するものすべてを選んでください



上記で⑦を選択された方は、その理由をお聞かせください2件の回答

- ・ ヒントを貰えました ありがとうございます
- ・ 質的、量的の違いを再度説明して欲しい。また文献を混ぜて説明があったがそこが難しかった。

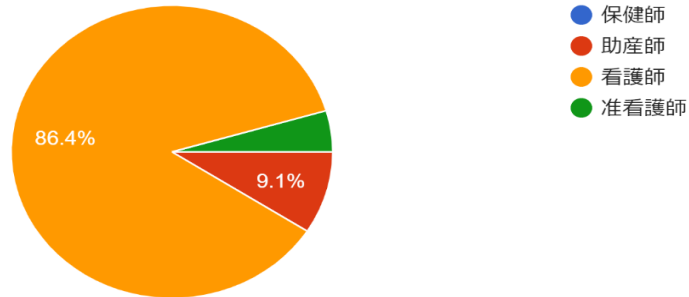
2 5月16日アンケート結果

参加人数22名 回答数 22名 回答率 100%

※アンケートはGoogleフォームを使用したオンライン上の質問と回答

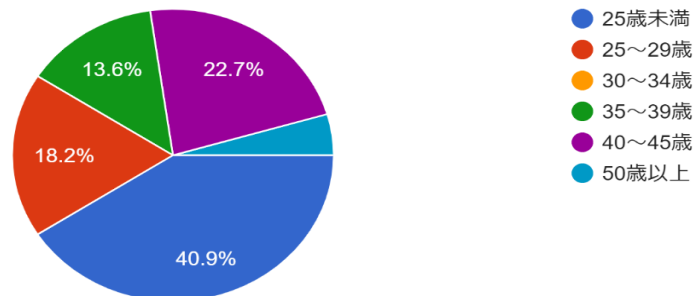
1-1該当する職名をチェックしてください。

22件の回答



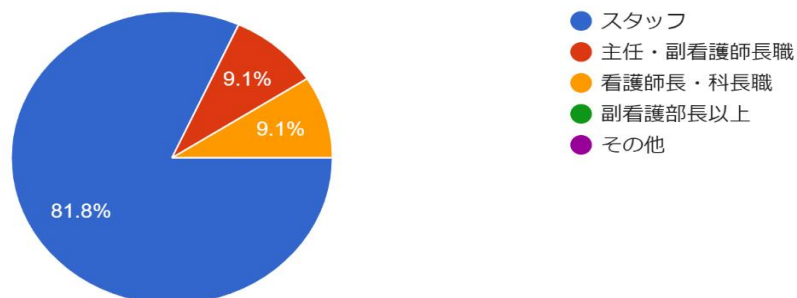
1-2年齢 次の中から該当するものを選んでください。

22件の回答



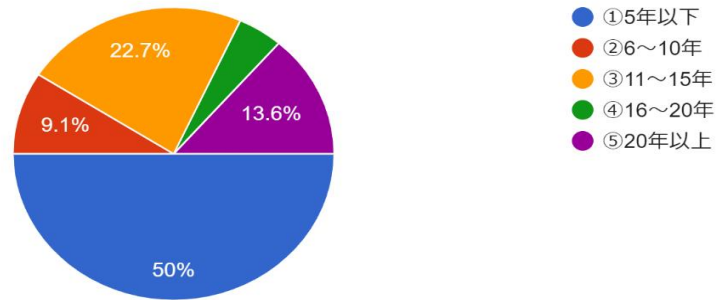
1-3職位を選択してください。

22件の回答



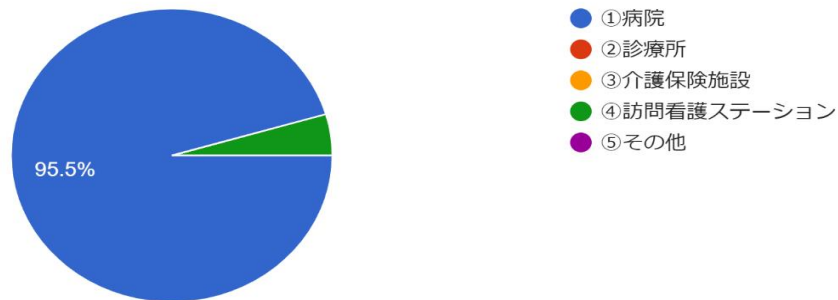
1 - 4経験年数

22件の回答

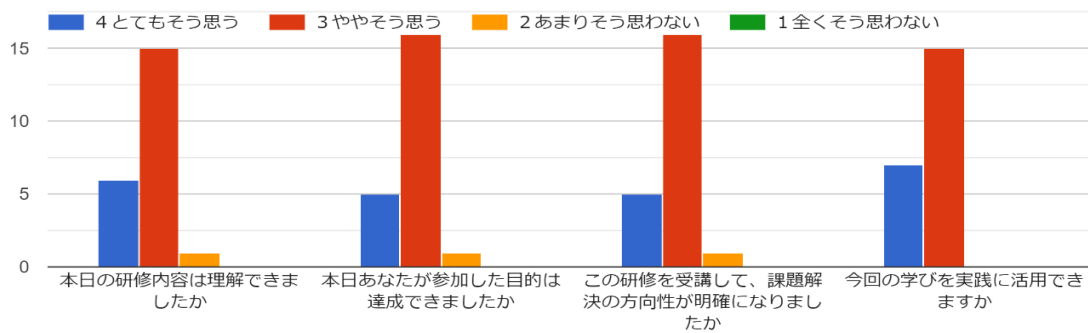


1 - 5所属施設の種類

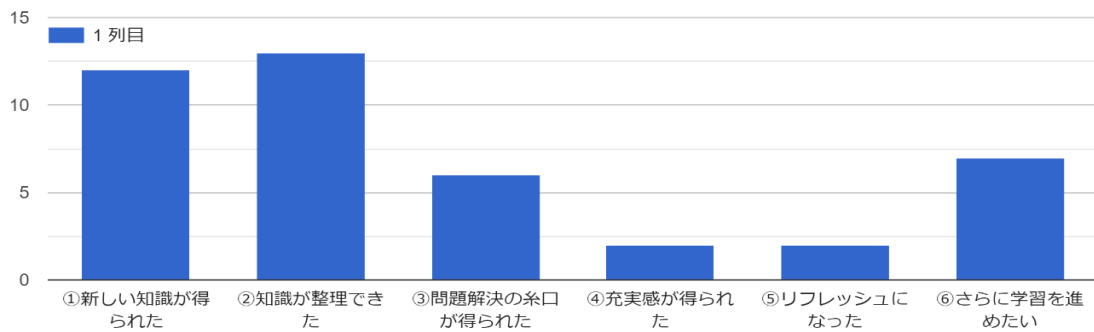
22件の回答



2. 以下の質問に最も当てはまる番号にチェックをしてください



3. 研修全体を通じた感想として、該当するものすべてを選んでください



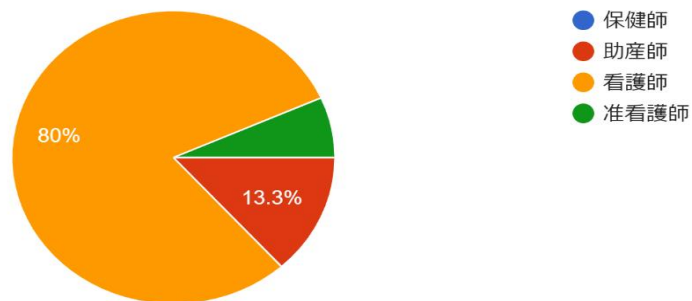
3 5月28日アンケート結果

参加人数21名 回答数 15名 回答率 68.1%

※アンケートはGoogleフォームを使用したオンライン上の質問と回答

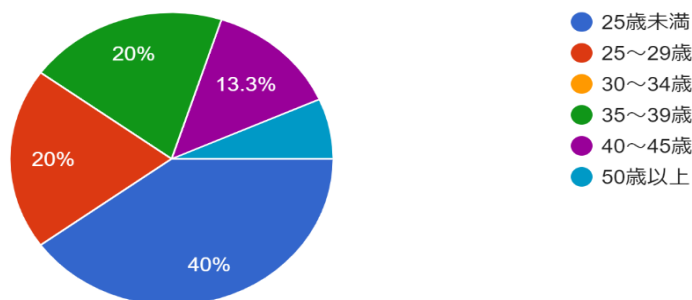
1-1該当する職名をチェックしてください。

15件の回答



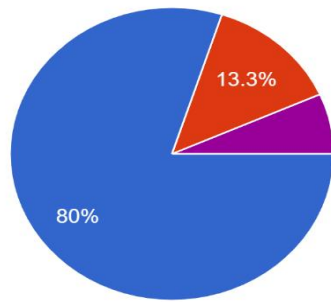
1-2年齢 次の中から該当するものを選んでください。

15件の回答



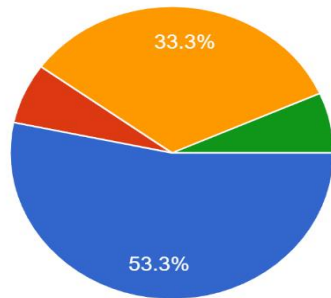
1-3職位を選択してください。

15件の回答



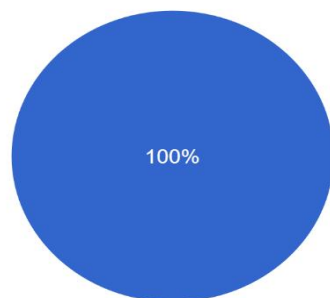
- スタッフ
- 主任・副看護師長職
- 看護師長・科長職
- 副看護部長以上
- その他

1 - 4 経験年数
15 件の回答



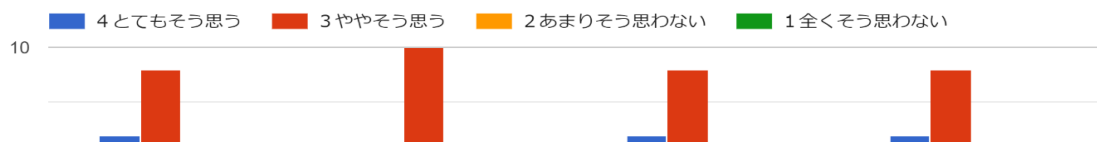
- ①5年以下
- ②6~10年
- ③11~15年
- ④16~20年
- ⑤20年以上

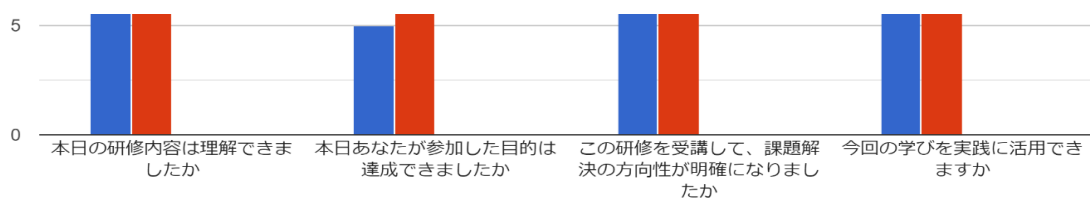
1 - 5 所属施設の種類
15 件の回答



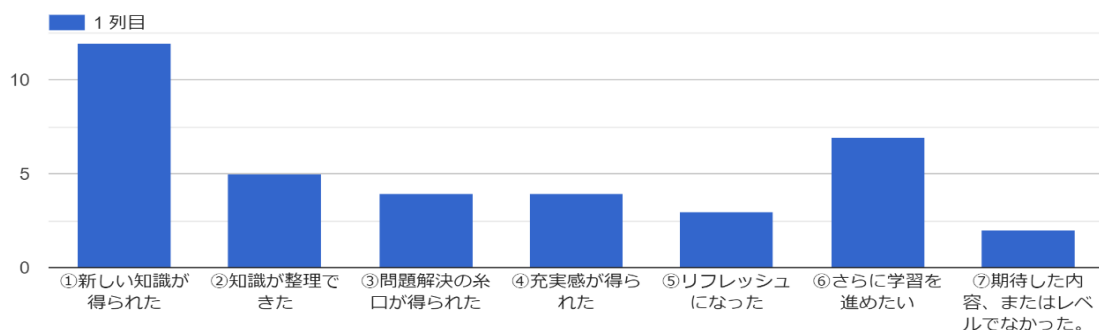
- ①病院
- ②診療所
- ③介護保険施設
- ④訪問看護ステーション
- ⑤その他

2. 以下の質問に最も当てはまる番号にチェックをしてください





3. 研修全体を通じた感想として、該当するものすべてを選んでください



4) 感想及び質問をご記入ください

- ・インタビューの場合の対象者人数について
インタビュー後の撤回が生じる可能性を考慮すると何人ぐらいが適正なのでしょうか

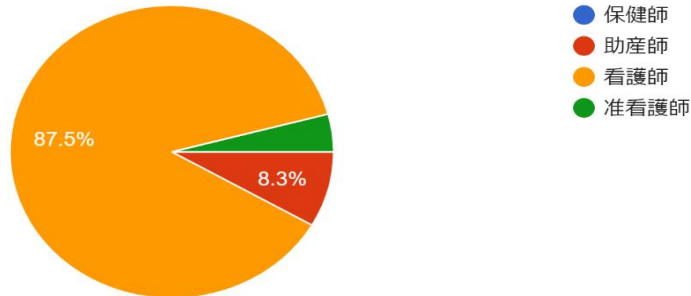
4 5月30日アンケート結果

参加人数29名 回答数 24名 回答率82.8 %

※アンケートはGoogleフォームを使用したオンライン上の質問と回答

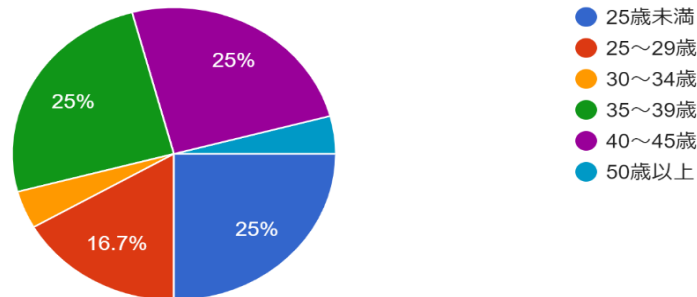
1-1該当する職名をチェックしてください。

24件の回答



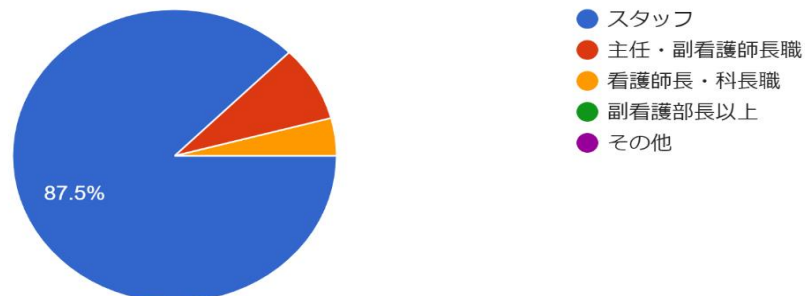
1-2年齢 次の中から該当するものを選んでください。

24件の回答



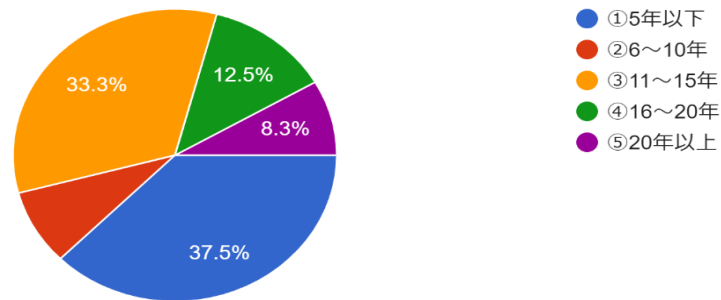
1-3職位を選択してください。

24件の回答



1 - 4経験年数

24件の回答

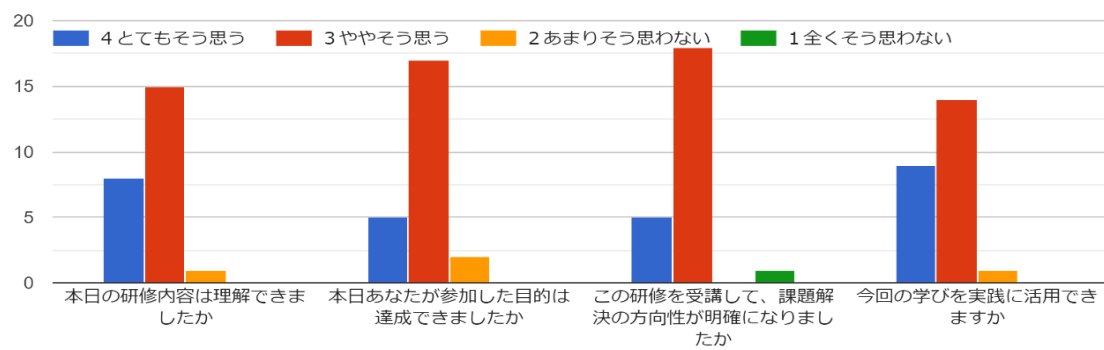


1 - 5所属施設の種類

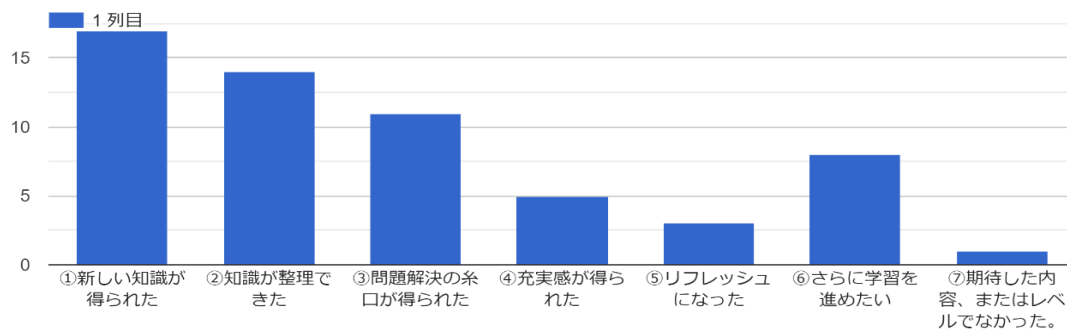
24件の回答



2. 以下の質問に最も当てはまる番号にチェックをしてください



3. 研修全体を通じた感想として、該当するものすべてを選んでください



III. 研修担当者より

本年度は県下中小規模の施設から受講頂くため全日程オンライン研修で開催した。結果、東西遠方の病院から受講いただくことができた。また昨年度の高知県看護協会看護研究学会において実践報告の発表を多く頂いた。よって、講師の先生方には、講義内容に、実践報告における注意点等を盛り込んで頂くことをお願いした。受講生から具体的な質問も寄せられ、個々の研究に活かせる内容であったと考える。

今後も、受講しやすい環境を工夫し高知県の研究基盤向上に努めたいと考える。